

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2009年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学科		
担当教官名	橋本 直己		
居室	西9-603		

公開E-Mail	授業関連Webページ
program@ims.cs.uec.ac.jp	<a href="http://www.ims.cs.uec.ac.jp/~naoki/lecture/program/2009/">http://www.ims.cs.uec.ac.jp/~naoki/lecture/program/2009/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>コンピュータプログラミング言語として幅広く利用されているC言語の習得を目指す。 同時に、C言語を通してコンピュータの仕組みやプログラミング特有の考え方を身につけることも目的とする。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
コンピュータリテラシー

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
講義資料を授業関連ページにて公開する。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
<p>授業は講義と演習を組み合わせで行う。まずC言語の文法を講義し、続いてそれに関連した演習課題に取り組む。 1講義当たり4~5題の課題を予定。講義終了後、課題の一部をEメールにて提出。</p> <p>以下に、本講義で取り扱う内容を示す。</p> <p>1) 変数と型</p>

## 電気通信大学 平成21年度シラバス

- 2) 制御文
- 3) 配列
- 4) 関数
- 5) 文字列
- 6) ポインタ
- 7) 構造体
- 8) ファイル処理

### 【授業時間外の学習（予習・復習等）】

講義で扱った内容については、次回講義までにしっかり復習をして理解しておくこと。  
前回までの講義を理解しているものとして講義を行う。  
また、講義資料を事前に公開するので、C言語に不慣れな学生は積極的に予習をするよう心がけること。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

演習が目的であるため、講義に参加して演習をこなすことを重視する。

講義への出席： 40%  
演習課題の提出： 30%  
期末試験： 30%

なお、講義開始時間に着席していない場合は欠席とみなすので注意すること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

相談がある場合には、まずはEメールにて問い合わせること。

### 【学生へのメッセージ】

プログラミングを初めて学ぶ人には、C言語は少々難しい言語です。  
できるだけわかりやすく講義しますが、後半になればなるほど難しくなるのは避けられません。  
しっかり予習・復習を行ってください。

### 【その他】

特になし